

平成24年4月20日（金）
文化財課 庶務・文化財管理グループ
担当者 出村・金田
内線 5623
直通 076(225)1841

国の重要文化財、登録有形文化財の指定等について

- 1 国の文化審議会（会長 宮田 亮平）は、平成24年4月20日（金）に、
「木造千手観音坐像」（七尾市）を重要文化財に指定、
「田辺家住宅 主屋 以下2件」、「あかつき屋」、「金沢市民芸術村事務所棟」
「宝円寺 本堂 以下3件」（いずれも金沢市）を登録有形文化財（建造物）に登録す
るよう、文部科学大臣に答申した。
- 2 今回の答申どおり指定・登録されれば、県内の国宝・重要文化財は129件
（うち彫刻16件）、登録有形文化財（建造物）は94箇所227件となる。

もくぞうせんじゆかんのん ざ ぞう
木造千手観音坐像について

所在地 七尾市大田町5-74

所有者 宗教法人 かいもんじ 海門寺

員数 1 軀

大きさ 像高 74.2 cm

特徴 本像は、優雅で平明な平安後期様式を示す千手観音像である。像内銘より保元3年（1158年）に造られたことや、御衣木として出羽立石寺しやくじほか各地から収集してきた霊木を用いたことが判明する。

平安時代後期の貴重な在銘彫刻であるのみならず、当時の造像儀礼の様相を示す資料として価値が高い。（H18.10.20 県指定有形文化財）

（平安時代）



た な べ け じゅうたく おも や もん へい
田辺家住宅 主屋、門及び塀について

所在地 金沢市寺町1-138（住居表示は、金沢市寺町1-4-3）

建築年代 主屋：昭和2年(1927)
門及び塀：昭和2年(1927)

構造 主屋：木造2階建、瓦葺一部鉄板葺、建築面積100㎡
門：コンクリート造、高さ2.9m
塀：コンクリート造、延長24m

特徴 石川県の技師であった田辺満一が建てた自邸。外観は洋風だが内部は和室を主とし、応接間などを洋風意匠でまとめる。昭和初期という時代性を反映した和洋折衷住宅。

主屋は、東南角地に建つ木造2階建、寄棟造^{よせむねづくり}棧瓦葺、北面に東入りの玄関、西面に平屋建の茶の間と浴室がつく。東面北寄りには上下階通しの出窓で、2階南東隅をサンルームとする。上下階とも南面に和室を配し、東面と同じ意匠の出窓を設ける。ホール式平面の近代住宅。

門は、敷地東面北端に開き、北側門柱は円柱で基部は玉石張、胴部はモルタル塗で円盤が載る。南側門柱は植木鉢とする。

塀は門から南へ延び、コンクリート擁壁に玉石張で、片端波形のコンクリートブロックを一段積み、南面から東半分まで廻らす。



田辺家住宅 主屋



田辺家住宅 門及び塀

あかつき屋について

所在地 金沢市暁町623（住居表示は、金沢市暁町21-18）

建築年代 昭和8年頃

構造 木造2階建、瓦葺、建築面積68㎡

特徴 昭和初期の金沢町家の一例で、現在はゲストハウス（宿泊施設）として利用されている。

北西角地に建つ木造2階建、^{きりつまづくり}切妻造 棧瓦葺の町家。入口は西面で、背面北寄りに片流屋根の水廻りを突出する。間口三間の正面の北端一間を戸口、南側二間は出格子とする。2階は中央二間を出格子とし、北側面は全面下見板張とする。建ちの高い近代町家である。



かなざわ し じんげいじゆつむら じ む しよとう
金沢市民芸術村事務所棟について

- 所在地 金沢市大和町1-2-1（住居表示は、金沢市大和町1-1）
- 建築年代 大正8年頃
- 構造 木造2階建、瓦葺一部鉄板葺、建築面積381㎡
- 特徴 金沢紡績創業時の事務所棟として建設。
木造2階建、寄棟造棧瓦葺でL字形平面の東角を隅切して玄関を構える。北面を吹放しの廊下とし、南面に階段室と便所を配する。外壁は下見板張で欄間付上下窓を連ねる。簡潔な意匠の事務所建築。



ほうえんじ ほんどう くり さんもん ついじへい
宝円寺 本堂 庫裏 山門及び築地塀について

所在地	金沢市宝町358（住居表示は、金沢市宝町6-14）
建築年代	本堂：明治5年 庫裏：昭和2年 山門及び築地塀：明治32年
構造	本堂：木造平屋一部2階建、瓦葺、建築面積666㎡ 庫裏：木造2階建、瓦葺、建築面積385㎡ 山門：木造、瓦葺、間口2.8m 築地塀：木造、瓦葺、総延長：8.4m
特徴	<p>加賀藩主前田家の菩提寺で、標準的な曹洞宗本堂を持つ大型本堂、伝統的な間取りの1階と広い接客施設の2階を併せ持つ大型庫裏、特異な装飾を持つ山門及び築地塀を備える。</p> <p>本堂は、境内奥に南東面して建つ。入りもやづくりのきからは風付玄関を構え、堂内は内陣と大間を中心に四列八室を配し、背面に開山堂を張り出す。</p> <p>庫裏は、本堂東側に建ち、切妻造棧瓦葺で、北面庭側には客間などを配し、南半分は台所などとし、2階は廊下両側に座敷などを並べる。</p> <p>山門は、大型の一間薬医門、切妻造棧瓦葺で、梁上の三斗で軒桁を受け、冠木上には龍を象った墓股を飾る。</p> <p>築地塀は、精緻な石積基礎上に建ち、両端を前方に出した配置とする。禅院の結界に相応しい厳格な構えをみせる。</p>

宝円寺 今回登録される建造物



本堂



庫裏



山門及び築地塀